



# 東実同窓会報 No.34

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部  
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

## 東京実業高等学校 創立 100 周年記念号

### 会長就任にあたって



会長 酒井 利夫 (第53期)

同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

同窓会会員並びに学校教職員の皆様方におかれましては、平素より同窓会の運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和4年6月に開催されました第42回定期総会におきまして、第7代臼田佳彦会長の後を受け、第8代会長を努めさせていただくこととなりました第53期卒業の酒井利夫と申します。

同窓会の会員の中には、各界でご活躍の同窓生が多数おられる中で、私のような若輩ではと戸惑いもありますが、就任しましたからには、同窓会運営にあたり、「ふれあいと語らいの同窓会」をモットーに誠心誠意同窓会や母校の発展のため頑張る所存です。

何卒格別なるご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

学校法人上野塾東京実業高等学校は今年度100周年を迎えることが出来ました。また、姉妹(兄弟)校でもあります東京高等学校に於かれまして150周年という長い歴史が刻まれました。これもひとえに歴代の理事長先生、校長先生、教職員をはじめその時代に在籍しており

ました諸先輩の方たちが、伝統ある上野塾の歴史を大切に築き上げて来られた賜物だと感じております。

令和4年10月1日に東京高等学校と合同で記念祝賀会並びに記念式典が執り行われましたが、その場に同窓会会長と言う立場で迎えられたこと大変感慨深いものを感じる事が出来ました。

令和4年度は、第98期の卒業生が未来に向けて巣立ってまいります。長い学校生活の歴史の中で、高校生活はたった3年間ではありますが、東京実業高等学校の卒業生であることを誇りに思っ日々活躍されますことをお祈りしております。

また、若い世代の卒業生(会員)の方々在今后どのような形で同窓会・学校行事に参画をしていただくかを含めた、いろいろな改革を目指して頑張っていく所存でございます。これからの同窓会運営に、皆様方の益々の力強いご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。

(令和4年12月19日 記)



東京実業高校同窓会のホームページ  
<http://www.tojitsu-dosokai.com/>



～ふれあいと語らいの同窓会～京実業高校同窓会では、同窓会のネットワークを通して会員相互の好誼と母校の興隆を図ることを目的としております。

## 令和4年・コロナ禍の中で



理事長 上野 雅子

今年度も又、コロナ禍での日常生活で3年前と同様にマスク着用、手の消毒、体温測定等細心の注意を払い、何とも窮屈な生活を強いられてきました。3年という長い年月は、少しずつ慢性化して人間の警戒心を薄れさせ、このところ又徐々に感染者数が増加しており、この先もコロナはいろいろな型に変異して居座りそうな状況です。

さて学校の方は、令和4年創立100周年を迎えましたが、コロナ禍前の計画では、多くの方々をお招きし、盛大にお祝いしようと考えておりました。それがこのような長い災厄となり、規範の縮れを余儀なくされ、お招きする御来賓の数も制限させて頂きました為、御出席頂けない方々も多く、大変申し訳なく思っております。

100年という長い歴史の中では、様々な困難が待ち受けていたことは、想像に難くありません。母体となった

東京高等学校が、創立150周年を迎え、両校同時に式典及び祝賀会を10月1日に開催致しましたが、両校の教職員及び生徒が一堂に会したのは、実に昭和2年以來のことで実に感慨深いことでありました。その東京高等学校の礎となったのが、明治5年上野清が創設した数学塾でした。近代国家へと変化してゆく明治時代は、紆余曲折を経ながら創立50年を大正10年に迎え、その記念事業として東京実業学校設立準備、大正11年東京実業学校を設置し、現在の東京実業高等学校へと発展していきました。その後も関東大震災、第二次世界大戦等多くの困難を乗り越え、昭和11年に蒲田の地に移転してから88年、日本も大きく変化し、令和の時代には、又新たな問題を抱えることとなりました。果てしない人間の欲望は、富と利便さを手に入れましたが、その結果、地球温暖化、貧富の差によるテロや戦争等全人類が、力を合せて解決策を見出さなければならぬ事態となっています。多くに先人達の手で私達が手に入れた豊かで平和な社会を、次の世代の若者達に継がせる責任を私達は負っていると思います。しかし今の若者達は、私達の知らない世界で自分達の可能性を自由な発想で見出し、又新しい世界を作り出していかうかもしれません。人類の歴史とは、苦難を乗り越え平安を手にし、そして又新たな苦難にぶつかり乗り越えてゆく、この繰り返しのなにかかもしれません。

(令和4年12月13日 記)

### 『東実100年誌 —フェニックス更なる飛躍を目指して—』より抜粋

学校法人上野塾 理事長 上野 雅子

### 巻頭の辞

学校法人上野塾は、開塾以来令和4年を以って150周年を迎えます。創設者上野清は、明治三大数学者の一人と言われ新しい国作りの為には優秀な人材の育成が必要との考えから数学塾を始めました。それが現在の兄弟校である東京高等学校の始まりです。東京高等学校は、明治5年の創立で令和4年で150年となりますが、東京実業高校は遅れる事50年、大正11年4月に、これからの社会は実力養成の職業教育が必要との考えを基に東京中学校の併設校として東京実業学校を創立、甲種実業学校(5ヶ年制)として文部省より認可されました。その後大正14年東京実業学校夜間部に移行、昭和元年鉄筋3階建校舎の落成により昭和2年に甲種実業学校の認可を受け、2年後には103名の卒業生を世に送りました。後に日本は、上海事件の勃発、満州事変など軍事政策に追われ、国民の生活はたちまち不景気に晒され教育界も中途退学者の続出、入学志願者の激減と大きな節目を迎え、学校存続の為に昭和6年、財団法人上野塾を設立、学校の基礎を確固たるものにしました。その後、西小川町の校舎の敷地の狭さもあり、東京中学、東京実業の昼夜の授業には限界があり、より広い敷地を求めて、昭和8年大森区の高摩川近くに5,000坪の土地を手に入れ、東京中学が昭和9年に大森区調布嶺町に移転し現在の東京高校となりました。東実は、これを機に単独の校舎を持ち独立する事となり、現在の蒲田の地に1,000坪の土地を入手し、昭和11年東京実業学校として一本立ちをしたのでした。しかし日本は第二次世界大戦への道を突き進み、この時期には多くの困難が待ち受け、生徒達もまた本来の勉強からは程遠い軍事訓練等に明け暮れる生活となり、日本全体が暗い世になっていきます。そのような多くの困難を乗り越えて、昭和26年に東京実業高等学校と校名を変え、現在に至っています。普通高校とは異なり、商業、機械、電気科と卒業後すぐに役立つ人材育成を追い求めた、上野熊蔵の確固たる意志は現在も営々として生き続け、世に立派な人材を送り出しています。

こうして100年という長い歴史を繙いていきますと、大正時代から昭和にかけて経験した様々な困難を先達の方々は一丸となって克服し、今私達の時代へと繋げてくれた、その櫛をしっかりと受け継ぎ、次の時代へと渡す事の重要さを身の引き締まる思いで感じます。

今私達が住む世界は、今迄とは違った困難な課題を抱えています。地球温暖化は、一刻も早く解決策を見出さなければなりません。欲望を抑える事なく豊かさを貪り続けた、そのツケを払わなければならない窮地に陥った現代、次の世代が平和で安心出来る世にする為にはどうすれば良いのかを思考し、これからの教育が人類の助けになるような人材育成をめざし心豊かな徳のある人間を世に送り出していかなければならないという思いを深くし、この先50年100年と続く学校であるよう努力して参る所存です。

最後に、この100周年記念誌編纂に多くの方々の御支援御尽力を賜りました事に深く感謝し厚く御礼申し上げます。

## 伝統的な東実祭の復活に向けて



学校長 國分 達夫

昨年度の同窓会報には、新型コロナウイルス第6波の兆候が見られる社会状況の中で、感染症防止への取組状況を寄稿しました。あれから1年が経過したにもかかわらず、年末には第8波が襲ってくるという情報があります。このように閉塞感が漂うなかでも、在校生の諸君は遅く教育活動に取り組んでいます。

10月29、30日には東実祭が行われました。この時期における他校での文化祭の実施状況は、新型コロナ感染症への対策から、校内関係者のみで実施する学校が多く、また、模擬店などの飲食を伴う出し物を認めるところはほとんどありませんでした。

このような状況の中で、生徒で構成される東実祭実行委員会は、「東実100th 記憶に残る最高の文化祭」をテーマに掲げ、3年前まで伝統的に行われてきた実施形態（模擬店を出店しつつ、一般の方々の入場を認める）で行いたいという強い要望を抱いていました。特に、3年生は、入学以来、コロナ禍に翻弄されてきた学年であり、多くの学校行事が変更を余儀なくされてきたこともあり、

学年最後の思い出を飾りたいとして、その意欲はとても強いものがありました。

生徒諸君の気持ちは、痛いほど良くわかりますが、学校という場は、まずは、生徒の健康の安全を確保することが第一です。このことから、実行委員会の要望に応える判断の基準は、参加者全員の健康の安全確保が担保できることでした。東実祭顧問団の先生方との遣り取りも、この一点に集中して審議を尽くしました。最終的には、生徒諸君の具体的な行動が伴った要望であることが確認でき、先生方の、この厳しい状況を乗り越えることを通して生徒を遅く成長させたいという熱意が心に響き、今回のような実施形態で行う決断をしました。

この決定を受けて、実行委員会は、模擬店では、調理する際の厳しい審査や、チケット販売方法や、今回の肝となる黙食の徹底の仕方など、多くの創意工夫を凝らして、精力的に取り組んでくれました。また、一般の入場者につきましても、入場者の特定が出来るチケット制をとり、午前と午後への入れ替え制を取り入れるなどして密になる状況を避けて、感染症対策を徹底しました。

今回の東実祭は、生徒と教職員の強い結束により、所期の目的である「参加者全員の健康の安全確保」を達成しつつ、東実祭を通して、生徒一人ひとりが、大きく遅く成長することが出来たと確信しています。

同窓会の皆さまにも、東実祭の成功に向けて、様々なご支援ならびにご協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後とも、宜しくお願い致します。

(令和4年12月7日 記)

## 「創立200年に向かって新たな一歩」



副校長 武田 一郎

“前へ、前へ、その先に向かって”

日頃より本校の教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

東京実業高等学校の創立100周年をコロナ禍ではありましたが、無事に迎えることができました。

長引くコロナの影響は、本校の教育活動のみならず同窓会としての取り組みも多くが縮小、または中止を余儀なくされました。そして、これまでの常識にとらわれず常に新しい活動様式を考えなくてはならないようになり

ました。

同窓会の皆様には、母校支援という立場から多大な面でご協力をいただいておりますが、今後も多くの同窓生の皆様の知見、経験、情報、ネットワークなど様々なご支援もいただきながら東京実業高等学校の教育の充実を図っていきたくと考えております。

100周年を迎えた東実は、今年度から「フェニックスプログラム」を導入し、大学進学という進路実現を目指し、取り組んでおります。しかし、大学合格者数の増大や陸上部、サッカー部または、マーチングバンド部が全国大会に出場することで母校のブランドイメージをアップさせるだけでなく、次の百年を担うより良い人材を輩出するとともに「東実に入学してよかった」と感じる卒業生を一人でも多く増やしていくことを目指して日々努めてまいります。

母校の発展と併せて、同窓生及び同窓会の活動もますます充実し、発展し続けるよう常に「一歩前に踏み出す力」を発揮していきたいと思っております。

今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

(令和4年12月7日 記)

## 学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

本校は令和4年度に創立100周年を迎えました。新型コロナウイルスの収束が見えない中、様々な制約はありますが、在校生と教職員一丸となって日々教育活動に取り組んでいます。今回はその様子を中心にお伝え致します。

### 1. 「体育祭」を実施

6月27日(月)に駒沢体育館にて全校生徒による体育祭を実施しました。ただし三密を避けるため、全校生徒が一堂に会することは避け、昨年度同様午前中に機械科と電気科の生徒、午後に普通科の生徒と2回に分けての実施とし、新型コロナウイルス対策を万全にしての開催となりました。予行練習日なしでの本番でしたが、体育科の先生方の周到な準備と生徒たちの協力により、予想以上に盛り上がった密度の濃い時間を過ごすことが出来ました。

今回も在校生のみでの開催で、保護者や同窓生の皆様のご来場はご遠慮いただきましたが、来年度こそは従来の保護者や同窓生の皆様にもご参加いただける体育祭を開催できればと思います。

### 2. 「東実祭」を開催

昨年度は1日のみ限定開催とし、同窓生の皆様を含めた一般の方のご来場はご遠慮いただき、保護者のみが参観できる形で開催しましたが、今年度は10月29日(校内開催)と30日(一般公開)の土日2日間にわたり東実祭を開催しました。ただし、今年度もコロナ感染防止を第一に考え、同窓生を除いた保護者、友人は各2名の限定招待制とし、また開催時間も一般公開の30日は、午前の部は9時から11時まで、午後の部は13時から15時までの入替制とし、校内での密を避ける工夫を凝らしての開催でした。3年生が楽しんでいた模擬店についても、購入後の飲食スペースや黙食の徹底などを実行委員会の生徒を中心に準備し、大きなトラブルなく実施できたと思います。

新型コロナウイルス禍の難しい時期の、様々な工夫を凝らした東実祭の開催は、生徒たちにとって今後の活動への大きな自信になったと思います。



### 3. 在校生(クラブ)の活躍

#### ○硬式野球部…秋季東京都大会予選

- ・9月3日、浅草・科学技術・深川高校に10-0で勝利
- ・9月17日、世田谷学園高校に1-7で敗戦

#### ○男子サッカー部…全国選手権大会東京都本予選

- ・10月23日、準々決勝で駒沢大高に2-0で勝利
- ・11月6日、準決勝で成立学園に1-2で敗戦  
東京都第3位入賞

#### ○陸上競技部…全国高校駅伝大会東京都予選

- ・11月3日、男子4位に(11月19日、関東大会に出場)  
また、普通科3年生の磯野友希さんが、11月13日に福島県で開催された「第37回東日本女子駅伝」に東京都代表として出場し、区間2位の走りでも東京都の10回目の優勝に大きく貢献しました。

#### ○マーチングバンド部

- ・11月13日、関東大会に出場し「銀賞」を受賞

### 4. 創立100周年(東京高校創立150周年)記念式典並びに記念祝賀会

#### ・記念式典

10月1日午後本校生徒と東京高校の生徒を「片柳アリーナ」に集め、来賓として同窓会関係者、親師会関係者をお招きして開催されました。理事長先生はじめ両校校長の挨拶、そして両校の同窓会長よりのご祝辞、生徒代表の喜びの言葉と続き、最後に両校の独自企画の動画などが上映され、厳粛な中にも楽しい式典となりました。

#### ・記念祝賀会

同日夜に「セルリアンタワー東急ホテル」の宴会場で開催され、大田区長をはじめ多くの来賓をお招きして、盛大に開催されました。コロナ禍であることを考慮し、派手な演出は控え、日頃お世話になっている皆様と一緒に創立を祝う、和やかな会となりました。

### 5. 教職員の永年勤続表彰並びに異動(敬称略)

#### ○永年勤続表彰者(3名)

- 勤続30年：関根 勝(数学)
- 勤続20年：田口 結香(商業)
- 北村 美佐紀(事務)

#### ○教職員の異動(7名)

- 新任教職員：小山 雄将(国語)
- 竹高 大地(数学)
- 西 玲音(英語)
- 山口 汐音(理科)
- 退職教職員：藤田 稔(工業) ※令和4年3月
- 横田 正明(国語) ※令和5年3月予定
- 山下 秀徳(体育) //

————— 令和5年1月31日現在 —————

## 普通科・文理コース

双方向型の授業と特別講座により全員の志望校現役合格をめざす

### ・探究コース

習熟度別・選択別授業と特別講座により、志望大学への現役合格を目指す

### ・総合コース

探究コースと同様のカリキュラムで学び、文武両道の実践を目指す



文理・探究・総合コース  
科長 寺岡 しのぶ

今年度は本校では、学校6日制新カリキュラムを導入し、1年生から普通科文理コースは、探究コース・総合コースの2つのコースとして生まれ変わりました。

この文理コースと2つのコースは、共通の目的を持つコースです。①大学進学を目指して学習すること。②総合的な探究の時間を学習しながら、自分の興味関心を知り、文理選択について考え、自分の卒業後の適切な大学受験を考え、志望校合格を勝ちとることが共通の目的になっております。

今年度は、Benesse社の「進路サポート」を取り入れ、スタディサポート実力テストを4月と9月の学期の最初に行い、現在の実力と現状を理解します。また、学期の終わりには、実力診断テストでG T Z (合格到達ゾーン) や全国の偏差値を知り、合格可能な大学や科ごとの弱点把握をします。

今年度1年生は探究・総合コース合わせて4クラスとなり、「総合的な探究の時間」は同じ年間指導計画に基づいて行っています。自己理解、社会理解や職業理解、文理選択に基づく興味関心に基づきながら学んだ内容をプレゼンテーションで発表してもらい思考力・判断力・表現力を養います。今の入試改革で大学入試に求められている力には上の力に加え、主体性・多様性・協働性もあります。大学入試で求められる力は、社会に出て求められる力になっています。

文理コース・探究コース・総合コースでは、基礎学力を高めながら、高校卒業後の大学進学に向けて学びに向かう姿勢や学び続ける力を身につけてもらいたいです。その上で、大学受験において志望校への合格を勝ち取って欲しいと考えております。

(令和4年12月20日 記)

## フェニックスプログラム 東実独自の進路実現プログラム

東京実業では、未来を見据えたキャリア教育である「フェニックスプログラム」を独自開発し、生徒一人ひとりの輝ける未来を支えつつ「探求学習」を推進して、目的意識の高い進路実現を果たします。

## 普通科・ビジネスコース

資格取得を支援し、自分らしい進路実現へ



ビジネスコース  
科長 田口 結香

現在、普通科ビジネスコースでは230名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験(簿記・情報処理・ビジネス文書ビジネスコミュニケーション検定・日本情報処理検定など)に挑戦することで個人の能力を向上させています。

また、2・3年生の選択授業では、新しく「ビジネス研究」という授業を開講し、コロナ禍で旅行産業が厳しい状況にある中、旅行したい人と地域の課題をマッチングさせるにはどのようにしたらいいかなどの研究を行い、それをプレゼンテーションにまとめ、発表しました。さらに、2年生の総合探究の授業では、実際の企業から企業課題の指示書もらい、新たな商品名や商品開発などを2月の全国大会へ向けて現在、取り組んでいます。

さらに、3年生の選択授業の「アプリ応用」の授業では、MAC PCを活用し、illustrator のアプリを活用して、缶バッジのデザインを考え作成などをしました。時代の変化とともに生徒が自ら創造し考える力を身につけて欲しいと考えています。



MACPCで作成した  
illustrator のデザインを  
缶バッジにしています。



## 機械科・機械システムコース

機械の専門スキルを取得し、創造性豊かな即戦力の人材へ



機械科科长 砂本 眞

令和4年度より新学習指導要領の導入に伴い、機械科機械システムコースとして生まれ変わりました。

機械システムコースでは、これからのモノづくり人材を育成すべく機械科教員一同邁進してまいります。

在籍人数は1年生26名、2年生38名、3年生51名、計115名です。

各クラスの担任は、次の各先生です。

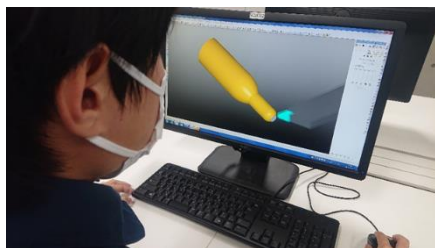
- 1年生A組：砂本 眞(機械)
- 2年生A組：片山 智裕(社会)
- B組：上原 直輝(社会)
- 3年生A組：松田 稔(体育)
- B組：羽田 雄(機械)

資格取得に関して、小型車両系建設機械運転特別教育講習に9名が合格しました。

また、今年度も国家資格「第二種電気工事士」に機械科2年生が1名、3年生が4名合格しました。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様の御幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(令和4年12月8日 記)



機械科  
CAD/CAM



機械科  
溶接生徒作品



令和4年度第二種電気工事士合格者

## 電気科・電気システムコース

電気の基本知識から資格取得まで、時代に即した技術者を育成

### ・ゲームITコース

理系大学進学を目標に、IT分野全般で活躍できる力を養う



電気科科长 深川 剛

今年度の新入生より、新学習指導要領に沿った新カリキュラムとなり、授業時間の充実を図るため週5日制から週6日制となりました。また、コース名も「電気コース」から「電気システムコース」に名称変更し、令和4年度がスタートしました。

今年度は電気システムコース25名(女子1名)、ゲームITコース29名(女子1名)の計54名を新入生として迎えることが出来ました。現在電気科は電気システムコース94名、ゲームITコース122名(11月現在)の合計216名の在籍者がおり、クラス数は電気システムコースの1、2学年が1クラス、3学年が2クラス、ゲームITコース1、3学年が1クラス、2学年が2クラスの計8クラス体制となっております。例年出展している「東京ゲームショウ」ですが、今年度は3年ぶりに幕張メッセでリアル開催されました。(去年、一昨年はオンライン開催)ゲームITコースの3年生が制作したオリジナルゲーム発表を中心に出展することが出来ました。

同窓会報で毎年報告しております。「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は36名の生徒が技能試験にチャレンジしました。終業式まで午前中は様々な学校行事が行われたため、午後だけの講習会となりました。時間が限られた中での練習となりましたが、見事33名(電気科28名、機械科5名)の生徒が合格を果たしてくれました。技能試験合格率91.7%となっております。「第一種電気工事士」では10月に筆記試験が行われ、電気科の茂木先生、福島先生指導の下、15名(電気科15名)が合格し、12月11日(日)に行われた技能試験を受験しました。結果11名が見事合格しました。電気工事士の結果中心の近況報告となりましたが、来年度も嬉しい報告が出来ますように電気科一同指導して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



東京ゲームショウ2022の本校ブース

## 部活動・軽音楽部



軽音楽部顧問 小泉 佐和子

私たち軽音楽部は、1976年（昭和51）に創部し、40年を超えて音楽を楽しむ部員と共に活動を続けています。

今年度は36名（3年15名、2年5名、1年16名）の部員が所属しており、ボーカル、ギター、ベース、キーボード、ドラムのパート毎の練習やバンド練習などを重ね、日々技術の向上を目標に活動しています。また、年間を通してライブ活動や地域のイベントへの参加、他校との交流ライブや音楽系大会への出場など、学校外へも活動の幅を広げています。最近では、音響や照明などに興味を持つ部員も増えており、ステージ技術も向上させることで完成度の高いライブを目指しています。

一昨年のコロナ禍以降、感染症対策のため練習やライブが制限され、なかなか思うような活動ができない時期もありましたが、昨年からは感染症対策を行いながら少しずつ通常の活動ができるようになってきました。

初代顧問として軽音楽部の立ち上げに携わった志賀由直先生からは、創部当時はエレキギターやバンドは“不良”のイメージが強く、周囲の先生方から反対の声も多かったと聞いています。しかし、バンド活動を通して共に音楽を楽しむ姿は、今も昔も変わらない軽音楽部の魅力であり、生徒の成長の機会となっています。以前、部員たちと部室の大掃除をしていた際に、たくさんのネガフィルムと共に20年以上前の写真やカセットテープが見つかりました。テニスコートでライブをする東実祭の写真、ホテルノース志賀で行われた合宿の写真などから、現在も実施しているイベントの数々が、この頃から長年引き継がれて軽音楽部の伝統になっていると改めて感じました。伝統を引き継ぎながら新たなチャレンジを続ける軽音楽部の活動に、今後とも応援をいただければ嬉しく思います。



## 生徒会・活動報告



生徒会副会長 澤田 銀之助

現在の生徒会執行部は、1年生8人、2年生8人計16人で活動しています。令和4年度の生徒会執行部の主な実績としては、体育祭運営・東実祭運営・先生と生徒の懇談会・校則見直しプロジェクト・クラブ合同説明会・100周年記念式典を行いました。現在は3年生の卒業に向けて、三送会の企画や生徒会広報誌「蒲公英」の作成を行っています。今年度の『体育祭』では、工業科と普通科を午前午後に分け、感染拡大に十分注意し、生徒全員が全力で楽しんでいました。人数は少なく感じましたが、午前午後ともに熱意が体育館中に広がり、感動しました。また、『東実祭』は念願の2日間での開催、及び模擬店の出し物をすることができました。また、保護者2名、友人2名を招待することが出来ました。ご来場してくださった皆様のご協力のおかげで、クラスターが起きることもなく2日間の東実祭が無事に終了することができました。準備期間も実行委員を中心に生徒一人ひとりが準備する姿をみて感動しました。来年度もこのような2日間で開催されることを祈っています。9月に行った『先生と生徒の懇談会』では、クラスの代表生徒が集まり先生と生徒間で議論しました。生徒も先生もお互いの考えをより深く知ることができ、これからの代議員の活動で活かせるような意見が沢山出ました。

昨年度から始まった100周年記念のプロジェクト「校則見直しプロジェクト」が今年度も行われました。先生と生徒の懇談会から出された意見をもとに生徒自ら校則を提案し、より良いものになるよう議論を重ねました。これからも活動を継続し、全校生徒の皆さんが校則に対する意識を高めてもらえれば幸いです。

今年から始まったクラブ合同説明会では、東京実業高校に入学を考えている受験生に向けて各部活動の代表生徒が様々な出し物を企画して受験生にどんな部活があるのかをよく知って頂けたと思います。そして、今年度最も大きな行事が『100周年記念式典』です。正式には「東京高等学校150周年、東京実業高等学校100周年合同記念式典」です。東京実業高校と姉妹校の東京高校の生徒会の皆さんと一緒に様々な出し物を作成しました。お互いの学校の事がよく知れる良い機会になったと思います。両校の生徒が協力し合い、交流戦などを行いました。両校ともにこれからも歴史が途絶えることなく発展して行くことを願っています。現在生徒会執行部は、昨年と変わらず16名で活動しています。今の生徒会執行部は成長過程にありますが、これからもお互いに切磋琢磨し、より良い生徒会となるように精一杯努力していきたいです。

保護者並びに先生方からの沢山の応援のおかげで、今私たちは活動できていると思っています。ご協力頂いた方の期待に応えられるように東京実業高校の新たな伝統を築き上げていこうと思います。

## 定期総会報告

### 第42回定期総会

第42回(令和4年)定期総会は、令和4年6月4日(土)15時より、総勢50名出席のもと、プラザ・アペア(蒲田)にて開催されました。

議事に先立ち、永眠された会員並びに同窓会関係者に黙禱が捧げられた後、臼田佳彦会長、学校法人上野塾上野雅子理事長が挨拶され、総会の召集権のある会長が議長となり次の5議案が議場に諮られ、いずれも全会一致で原案通り可決承認されました。

第1号議案 令和3年度事業報告の件

第2号議案 令和3年度収支決算報告

並びに監査報告の件

第3号議案 令和4年度事業計画(案)の件

第4号議案 令和4年度収支予算(案)の件

第5号議案 任期満了に伴う役員改選(案)の件

第5号議案の役員改選では、会長の臼田佳彦が退任し顧問に就任、副会長の酒井利夫が第8代会長に就任されました。また、下表(改選者名簿)の5名が改選されましたが、その他の役員は全員「重任」となりました。

改選後の同窓会の組織体制は、10ページの「令和4年度同窓会組織図」の通りです。

#### 改選者名簿

卒期	氏名	役職名		備考
		現任	改選	
—	武田 一郎	副会長	就任	副校長
38	川邊 國造	副会長	相談役	
38	池上 良信	常任幹事	退任	
42	神野 行雄	常任幹事	退任	
38	田所 豊	相談役	退任	

議事終了後、酒井利夫が会長就任を、臼田佳彦が会長退任の挨拶をされた後、出席された第96・97期(令和2・3年度卒業)の幹事らが紹介され、各自に自己紹介を兼ねて挨拶していただきました。

続いて、小畑雅一副校長(副会長)より、令和3年度東実スカラシップ(学業奨学生、資格・技能奨学生、スポーツ・文化奨学生)の認定生徒数等について報告され、2年生(現3年生)の認定式が行われました。

認定式では、受賞者を代表して出席した2名(スポーツ・文化奨学生の受賞者は大会出場により欠席)に、國分達夫校長(名誉会長)より認定証が授与されました。

### 総会後の懇親会

コロナ禍により2年間(第40・41回)中止となった総会後の懇親会は、総勢47名の出席のもと、盛大に開催されました。

開宴に先立ち、酒井利夫会長、國分達夫校長(名誉会長)の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会会長三枝香容子様よりご祝辞をいただきました。

続いて、小畑雅一副校長(副会長)に学校の近況報告をしていただいた後、武田一郎副校長(副会長)に乾杯

の音頭をとっていただき開宴となりました。

出席者は、89歳(第26期・1951年卒)から19歳(第97期・2022年卒)にわたる70歳差のOB・OGが一堂に会して交流するという同窓会ならではの楽しいひと時を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。(総務部)

### 会長退任あたり



顧問(前会長) 臼田 佳彦(第42期)

令和4年6月4日(土)開催された「第42回定期総会」において会長を退任して顧問に就任することとなりました。同窓会長として平成28年度から令和3年度までの3期6年間務めさせていただきました。

この間、上野雅子理事長並びに母校教職員、同窓会役員はじめ多くの会員の方々の温かいご指導とご支援をいただきながら無事退任の日を迎えることができました。

在任中は、幅広い年齢層にわたる会員の方々に同窓会行事等に参加していただき親睦を図ってもらうための組織力の強化、生徒数の減少に伴う会費収入減に対する寄付金募集の推進、当会の事業活動に関する事項のマニュアル化などを重点施策として取り組んでまいりました。

しかし、一つ心残りに思うのは、3期目の2年間においてコロナ禍の影響により恒例行事となっていた新年会と懇親旅行をやむを得ず中止したことです。

今年母校は創立100周年を迎え、10月に記念式典・祝賀会が開催されます。同窓会長として6年間にわたって深く母校に関わり、この記念すべき節目の年を迎えることが出来て大変光栄に存じております。

当会は今年度から、酒井利夫会長をリーダーとした新組織体制のもとで、100年の歴史と実績を誇る母校の隆盛とともに同窓会としての役割を果たしつつ、新しい時代に応えた組織として歩み続け、母校と同窓会の発展に寄与されて行かれることと思います。

私も引き続き顧問として酒井利夫会長を補佐しながら当会の運営に尽力していく所存ですので、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に、これまでにお世話になりました皆様に心より感謝申しあげますとともに、皆様のご健康と母校並びに同窓会のますますの繁栄を祈念申し上げます。

令和4年7月25日



# 令和3年度 収支決算報告 (第2号議案)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで、単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	3,988,868	3,988,868	事務消耗品費	210,000	170,169
入会金	2,700,000	2,660,000	通信連絡費	120,000	141,827
寄付金	100,000	70,000	ホームページ管理費	170,000	169,158
広告費	40,000	10,000	印刷費	70,000	63,470
総会会費	120,000	0	会議費	290,000	193,900
旅行会費	300,000	0	総会助成費	320,000	38,830
新年会会費	300,000	0	総会会費	200,000	0
東実祭	200,000	0	旅行助成費	100,000	0
受取利息	132	24	旅行会費	300,000	0
雑収入	220,000	30,000	新年会助成金	200,000	0
(総会)	80,000	10,000	新年会会費	420,000	0
(旅行)	0	0	東実祭助成費	70,000	0
(新年会)	120,000	0	東実祭費	220,000	0
(拡大幹事会)	20,000	20,000	会報発行費	670,000	644,393
(その他)	0	0	慶弔費	200,000	130,000
会議会費	50,000	48,000	卒業記念品費	300,000	258,610
(拡大幹事会)	50,000	48,000	積立金	500,000	0
(その他)	0	0	交通費	20,000	20,000
			予備費	100,000	121,610
			雑費	3,000	550
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,036,000	4,354,375
			(普通預金)	2,936,000	3,969,704
			(現金)	100,000	384,671
収入合計	8,019,000	6,806,892	支出合計	8,019,000	6,806,892

### ■積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	16,826,499	0	270	16,826,769	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,120,688	0	172	10,120,860	定期預金
合計	26,947,187	0	442	26,947,629	




令和4年度 東京実業同総会総会 2022.6.4 プラザア・ペア

### 令和4年度事業計画 (第3号議案)

- 総務部 (定期総会及び庶務一般等に関する事業)
  1. 第42回 (令和4年) 定期総会並びに懇親会の開催
    - (1) 定期総会
      - ・日時: 令和4年6月4日(土) 14時～
      - ・場所: プラザ・アペア
    - (2) 懇親会
      - ・定期総会終了後、隣接会場にて開催
      - ・参加費: 3,000円 (卒業後5年以内の会員は無料招待)
  2. 拡大幹事会の開催
    - ・日時: 令和4年11月18日(金) 18時～
    - ・場所: プラザ・アペア
    - ・会費: 3,000円
  3. 庶務一般関係
    - (1) 会員名簿の整理及び作成
    - (2) 会員の同窓会事業への参加促進活動
    - (3) 卒業記念アルバムの管理
    - (4) その他
      - 1) 常任幹事会等の開催
      - 2) 当該年度卒業同窓会幹事会の開催
      - 3) 学校行事への出席
- 事業部 (年間行事等に関する事業)
  1. 第39回 懇親旅行の実施
    - 9月下旬～10月中旬 1泊2日の国内旅行を計画
    - ※新型コロナウイルス感染症など諸般の事情を鑑み実施の有無を決定
  2. 東実祭への参加
    - ・日時: 令和4年10月29日(土)・30日(日)
    - ・催し: 同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き販売など
- 3. 令和5年新年会の開催
  - ・日時: 令和5年1月28日(土) 17時30分～
  - ・場所: 崎陽軒本店 (横浜)
  - ・会費: 8,500円～9,500円 (卒業後3年以内の会員は無料招待)
- 広報部 (会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業)
  1. 会報誌関係
    - (1) 東実同窓会報34号の編集及び出版
      - ※100周年記念号 (カラーA4・両面・20ページ)
    - (2) 頒布 (配付・送付)
  2. ホームページ関係
    - (1) 随時更新及び運用管理
    - (2) 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
    - (3) 会員からの各種変更届等の対応
  3. 広報活動
    - (1) 会報誌の広告掲載企業の募集
    - (2) ホームページのバナー広告企業の募集
- 会計部 (予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業)
  1. 予算・決算関係
    - (1) 現預金の出納業務
    - (2) 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
    - (3) 次年度予算の集計及び予算書の作成
  2. 寄付・協賛・贈呈関係
    - (1) 卒業生への卒業記念品贈呈
    - (2) スカラシップ (奨学金) への寄付
    - (3) 部活へのお祝い金贈呈
    - (4) 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等



ふれあいと語らいの同窓会



## 第43回 (令和5年) 定期総会開催のお知らせ

第43回 (令和5年) の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時: 令和5年6月3日 (土)  
15時00分～18時00分

場所: プラザ・アペア (蒲田駅南口)

総会終了後、会費 3,000円 で懇親会を開催いたします。会費は、卒業後3年以内〔令和3年3月卒業 (第96期) ～令和5年3月卒業 (第98期) 〕の会員は、招待となりますので会費は無料です。

クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎ですので、各期卒業のクラス幹事の方、クラスメートの皆さんをお誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

以上  
(総務部)

## 主な行事報告

### 令和4年度(第98期)同窓会幹事会

令和4年12月9日(金)12時より、母校会議室において、校長・副校長・学年主任・クラス担任の先生方と各クラスからそれぞれ選任された「令和4年度(第98期)同窓会幹事(18名)」に出席いただき、同窓会活動の紹介、同窓会役員と新幹事の紹介を兼ねて交歓会を開催しました。同窓会幹事は、主にクラスメートを代表して、同窓会の広報活動や行事等の参加促進などをさせていただくため、毎年各科・コースの各クラスから2名を選出しております。今年度の同窓会幹事および担任の先生は次の通りです。

(総務部)

### 令和4年度(第98期)同窓会幹事

クラス	担任	幹事	
機械A	松田 稔	◎岩淵 大典	宮崎 明
機械B	羽田 雄	弦間 拓実	宇山 龍星
電気A	関根 勝	西原 結真	中里 丈侑
電気B	清水 博信	石川 雄斗	早坂 陸
電気ITA	小谷 司	飯塚 祐太	高野 佑太
普通A	毛塚 卓夫	○上久保 美優	片山 夏穂
普通B	鈴木 七生希	紙漉 優理恵	佐伯 昂哉
普通C	田口 結香	福壽 みちる	平田 佳彦
普通D	小泉 佐和子	京谷 颯太	○沖 心

- ・学年主任は、湯尻英明先生です。
- ・◎印は代表幹事(○印は副代表幹事です)。



令和4年度(第98期)同窓会幹事

### 令和4年 拡大幹事会

令和4年拡大幹事会は、11月18日(金)、18時よりプラザ・アペアにおいて、15名(学校関係者6名、同窓会役員9名)出席のもと開催されました。

酒井会長、國分校長の挨拶に続いて、小畑副校長より卒業生(第97期)と新入生(第100期)の生徒数、教職員の異動、在校生の活躍(東実スカラシップ表彰生徒・学校行事・クラブ活動)、創立100周年記念式典並びに祝賀会の報告など母校の近況報告があった後、各部会(総務・事業・広報・会計)の実施済事業報告と年度内実施予定の事業について説明があり、会議は滞りなく終了いたしました。

会議に次いで、上野理事長より東実の100年の歩みや当会が創立100周年記念にお祝い金を贈ったことに対して感謝の言葉など述べられ後、武田副校長に乾杯の音頭をとっていただいで懇親会を開催いたしました。

相互の情報交換等を通じて、更なる協力・連携体制の強化を図ることができました。

(総務部)



拡大幹事会(2022.11.19 於:プラザ・アペア)

### 令和4年度 東実祭

令和4年度の東実祭は、10月29日(土)～30日(日)の2日間、新型コロナウイルス対策と生徒や来場の関係者の健康と安全確保に万全を期して、従来通りの形態で開催されました。

今年は母校創立100周年であり「東実100th～記憶に残る最高の文化祭～」のテーマのもと生徒たちのいきいきとした姿を拝見して大変嬉しく思いました。同窓会は2日目の30日(日)1日のみの参加となりましたが、コロナ前と同様に同窓会の部屋を設けて歴代の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示などを行い、校庭テントにて“校章入りドラ焼き”の販売を行いました。

(事業部)



同窓会の部屋



ドラ焼き販売

## 第39回 懇親旅行

第39回懇親旅行は、昨年9月下旬～10月中旬に1泊2日の旅行を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防及び参加者の健康と安全を最優先に考え、止むを得ず中止することと致しました。

楽しみにしている会員もおられる中、昨年に続いて中止となり大変残念です…。

次年度はコロナ禍が収束に向かい開催できますようお願いとともに、開催の際には万障お繰り合わせの上ご参加いただきたくお願い申し上げます。

(事業部)

## 令和5年 新年会

令和5年新年会は、1月28日(土)横浜崎陽軒本店において開催を予定しておりましたが、昨年10月から増加傾向が続いている新型コロナウイルス第8波の感染拡大状況と、会員の皆様及び学校関係者の健康・安全面を第一に考慮し、開催を中止いたしました。

コロナ禍の影響によるとはいえ、3年間にわたっての中止は、誠に残念で新年会を心待ちにしてくださっていた方々には、大変申し訳なく思っております。

来年、新型コロナウイルスが収束しましたら盛大に開催したいと考えております。是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

(事業部)

## 本会報誌について

### 〇頒布 (配付・送付)

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから3年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者および広告掲載企業様等には、4月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

### 〇写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、1枚)がある場合は800字までとします。なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたします。

### 〇バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー(創刊号～本号)は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。

## 寄付者 (敬称略・卒期順)

: 令和4年2月1日～令和5年1月31日

No.	卒期	氏名	寄付金
1	第23期	宮島 昭五郎	10,000円
2	第29期	箕輪 弘数	10,000円
3	第34期	本田 位公子	10,000円
4	第37期	白銀 正明	10,000円
5	第38期	川邊 國造	10,000円
6	第40期	小川 隆	10,000円
7	第41期	田口 清	10,000円
8	第42期	臼田 佳彦	10,000円
9	第64期	清水 誠三	10,000円
10	第69期	名取 正人	10,000円
11	企業	㈱東京セントラル	10,000円
寄付者数	11名	合計金額	110,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

会長 酒井 利夫

## 東京実業高校同窓会会員総数

第97期(令和4年3月)卒業生まで

( )内の数字は女子会員

会員数	総数	商業系	工業系	普通系	
		うち女子	(3,672)	(2,612)	(19)
昼間部(同窓会)	総数	33,686	11,910	16,047	5,729
(大15～令4)97期	うち女子	(3,440)	(2,382)	(17)	(1,041)
夜間部(蛍窓会)	総数	3,586	2,223	1,363	
(昭4～昭52)49回	うち女子	(228)	(228)	(0)	
専門学校(五葉会)	総数	640	132	508	
(昭35～昭48)14回	うち女子	(4)	(2)	(2)	

第97期 卒業生数	商業系	工業系			普通系		
		機械科	電気科		ビジネス	文理	
			電気	IT			
合計	266	0	61	42	26	116	21
男子	239	0	59	42	26	98	14
女子	27	0	2	0	0	18	7

# 東京実業高等学校創立 100 周年記念式典とレセプションパーティー



副会長  
名取 正人 (第69期)

令和4年10月1日、日本工学院蒲田キャンパス片柳アリーナにおいて、我が東京実業高等学校の創立100周年と姉妹校の東京高等学校創立150周年記念式典が合同で行われ、同日夕刻にセルリアンタワー東急ホテルの地下2階ボールルームで、レセプションパーティーが行われました。

記念式典では両校の歩みを振り返る内容や、現役生と共に両校合同で会場を盛り上げる趣向が披露され、マーチングバンドの演奏や、交流会の様相が上映されるなど、盛り沢山の内容で、「痛く感動した」という声がかかしこに聞かれました。

レセプションパーティーでは、歴代の同窓生が集まり、理事長挨拶から始まって、来賓の姉妹校である学校法人南光学園東北高校校長五十嵐征彦様の祝辞などもあって、大変な盛況でした。豪華な食事に舌鼓を打ち、歓談を楽しんで、会は大成功のうちに幕を閉じました。

100周年を迎えた今、昔のように、みんなで互いに忌憚のない意見を言い合えるような、そんな高校であってほしいと、切に願っています。

高校生を始め、その年代の長所は、いい意味で怖いもの知らず、という所です。恐れを知らず、なんにでも挑戦し続けて、新しい発見というご褒美が得られることです。私も交換留学後に生徒会に入り、そこでも新しい仲間ができました。本当に私はこの高校に、沢山の贈り物を頂きました。今ではこの東京実業高校も大きく変化を遂げ、更に素晴らしい学校になったと、大きな喜びを感じています。

良い人間関係というものは、人生を通じての一生の宝であり、それはどんな人にも共通して言えることです。人生において健康の次に大切と言われるその宝物を与えてくれた母校に心から感謝し、その100周年を衷心より祝いたいと思いました。

短い人生という旅路において、高校時代というものは、ほんの一瞬のことで、その時代に経験した全てのことは、後々、人生の分岐点で役に立っているように思えます。

かけがえのない青春を共に過ごした仲間達と東の間の再会のときを楽しむことができ、本当に懐かしく、高校時代の友は一生の友、と仰っていた恩師の言葉を思い出しました。

(令和4年12月15日 記)

## ■ 姉妹校 ■



上野塾  
東京高等学校



南光学園  
東北高等学校

南光学園 東北高等学校(初代校長五十嵐豊吉先生)は、明治27年に東京数学院宮城分院(後に仙台数学院に改称)という一私塾としてうぶ声をあげ、以来、約130年におよぶ歴史を刻んで今日に及んでいます。仙台数学院の創設者は上野清・五十嵐豊吉・大松沢実政の三氏ですが、上野清先生は当時、東京数学院(現在学校法人上野塾東京高等学校・東京実業高等学校)を経営する著名な数学者で、宮城黒川郡出身の大松沢先生と、山形県酒田市出身の五十嵐先生は共に東京数学院に学んだ上野先生の門弟にあたります。



記念式典(片柳アリーナ)



校歌演奏



祝賀会(セルリアンタワー東急ホテル)



## 寄稿・投稿欄

## 現役生活での人々への感謝



元副校長 北井 邦寿

東京実業高校第3・5代校長上野熊蔵先生は語る。

「実際にそくした真に役立つ商工技術者の養成のために何かを作るべきだ」

それから40年。昭和37年12月15日東実タイムズ第20号で「本校の歴史はまさにわが国産業教育の歴史そのものであると確信している」と語っている。

また同号では、上野幸一校長が「四十年を想う一楽しい苦しみ」の中で、「方円の校章が象徴する無限の「方」の積み重ねは事実を中心として無限の円の広がりとなる。東実の前進には限度はない。地味に地道にしっかりと大地に足を踏んまえた東実こそわれわれの理想だ。さあ、諸君出発だ。また、次の苦しみのために。」と語る。

1964年4月より、事務員として東実に勤務。事務長鷹野宗太郎先生から声をかけていただいた。字の書き方について、厳しく指導された。職員の給与表は手書きである。特に数字「1」「6」「9」は正確に書くことが要求された。1964年5月新体育館兼講堂落成式が行われた。10月東京オリンピック開会。以後6年間東実にお世話になり、大學卒業を機に他高校へ教員として赴いた。

そして1975年、東実に再び着任。総合高校として大学進学を目的とした普通科設置のため尽力して欲しいという当時副校長であった井上稔先生からの話があった。短才な私に話を頂いたことに感動し、即答した。1976年4月普通科1回生38名を迎えた。初代普通科科长大平禮五郎先生。「これからの東実のために風穴を開ける。一緒に努力しよう」。現在、新潟県長岡市に眠る。田中留雄先生（地理に詳しい）。大岩守郎先生（授業の声は廊下に響き渡る）。菊池克己先生（地道な努力を怠らない）。工藤都志男先生（明るく、人に励ましの声をかける）。

そして、同窓会の人々にも大変お世話になった。創立八十周年史（写真集「日々生き生きと」）作成の許可を上野毅校長先生から頂き、取りかかったが、東実の過去の資料が乏しかった。当時の同窓会本田位公子会長に相談した。快く受諾していただき、多くの同窓生の紹介を受けた。資料、文章を依頼した。発見は、いろいろあった。校歌の作詞者が第一回卒業アルバムの写真の半田良平先生であることが判明。戦前「国民文学」の同人として日本短歌の一翼を担った人であった。

1950年4月21日創刊、東実職員への会報「じほう」。1954年「東実学報」、創立30周年事業として「女子商業

科」新設記事。上野塾創立者上野清先生の「東京日日新聞、朝野新聞（明治時代初期）」への31回の投稿文。戦争で焼失した東実校舎の再建決議録（昭和22年7月1日）等々であった。

西暦2000年に入った。教務部長の任に就き、自由選択授業が行われた。大學並みに講座を設定し、選択は生徒自身が行う。私は小論文の教科で機械科、電気科、ビジネスコース、文理コースと50名ほどの生徒を担当した。月2～3回ほど800字の字数で提出してもらった。添削して戻した時の生徒の顔がいい。

卒業式、入学式の司会は教務部長の任である。花粉症が激しかったが、集中力を途切らせないように、入念な準備を怠らなかった。

普通科長、学年主任、担任を行ったが、図書室長を20年ばかり、兼務した。最初は図書の貸し出し、返却、在庫冊数の確認は全て手作業で行ったが、井上稔校長にパソコンで処理できるよう、お願いした。快く了承していただいた。退職まで図書室の管理を行いたいと思い、蒲田図書館と連携し、生徒、保護者ばかりでなく、一般の人にも利用していただくという、構想を自身の中で描いていた。

教員としてもっとも感動したことは、大學合格を目指し、生徒と何度も話し合い、放課後は補習、夏休み直前は、勉強中心の学習合宿を一週間、苦勞しながら、合格の知らせの一報を受けたとき、生徒と一緒に涙したこと。

仕事で楽しかったことは、学校案内の冊子を藤吉大介先生（豊富な知識、底知れぬ力量をもつ）、宮地裕先生（柔道部の顧問。地道な努力で力をつける）、深川剛先生（学校のホームページを担当。ハードの部分の知識はプロ並み）、金子知美先生（鋭いひらめきで、他を驚かす）、そして私の五人で担当。様々な智慧を出し合い、「東実」という学校をどうアピールしていくか、検討したこと。そして、淵田和良先生（緻密さと大胆さを兼ね備える）。

退職間近の4年間、副校長として任に就いた。私にとって青天の霹靂ともいふべき、二度目の事件である。一度目は、教務部長に選ばれたときである。両者とも全く予想もできなかった。しかし、任に就いたからにはなんとしても頑張らなくては行けないという気持ちで働いた。奇縁であったことは、1964年5月、体育館兼講堂の落成式に事務職員として、来賓の案内を担当し、副校長期間にその体育館を取り壊し、新体育館の計画に携わったこと。不思議な因縁に駆られた。

2011年3月11日、東日本大震災発生。帰宅できない生徒、教職員を校舎に宿泊させ、夜食、寝具などの準備、配布。3月12日からの修学旅行の中止連絡など行った。落ち着かない日々の2週間後、3月31日、退職。私にとって、東実での生活は41年。人生の大半を過ごした席がなくなったのである。

退職後、11年経った。私は、私の人生に必要な私であることは、確信できた。しかし、東実にとって私は、必要な人間であったのだろうか。担当した卒業生にとって、私は必要な教師であったのだろうか、という思いが強い。

創立100周年は見事である。様々な人間の努力の結果である。現役職員が、総合高校としての東実をどのように発展させていくのか、期待したい。

## 三名の校長先生と「私の歩んだ道」

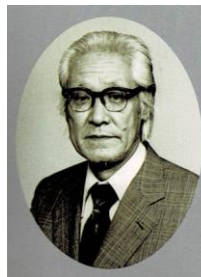


上野熊蔵先生

第3代校長（昭和14年(1939)～昭和25年(1950)）  
 第5代校長（昭和26年(1951)～昭和37年(1962)）  
 昭和36年(1961)11月 藍綬褒章受賞  
 昭和37年(1962)12月 逝去（78歳）



日下部 銚五郎  
 (第38期・機械科C組)



上野幸一先生

第6代校長（昭和37年(1962)～昭和63年(1988)）  
 昭和58年(1983)11月 勲四等旭日小綬章受賞  
 昭和63年(1988)11月 逝去（75歳）



堀越三郎先生

第4代校長（昭和23年(1948)～昭和26年(1951)）  
 大正8年(1919)8月 東京帝国大学助教授に就任  
 昭和7年(1932)1月 「明治初期の洋風建築」で工学博士号を取得  
 昭和47年(1972)9月 逝去（86歳）

創立100年を迎える学園に入学したのは昭和35年で、当時の校長は上野熊蔵先生でした。私達を孫として見るようなやさしい温和な目で迎えてくださいました。

私は中学時代まで坊主頭であったので、何ら違和感もなく、校風に合っていました。

在校時の思い出多々ありますが、一つ挙げれば3年時の修学旅行で、松尾芭蕉の奥の細道を巡る東北反時計廻りの旅でした。磐梯スカイライン福島・桧原湖を始めとし、松島・平泉そして大鰐温泉・日本海に面した湯野浜温泉と思えば深い6日間で、出発前皆で芭蕉の俳句と地名のパンフレットを作成して行きました。今でも芭蕉の俳句は思い出されます。

卒業時私達と同学年で歌手の舟木一夫さんの歌謡曲「高校三年生」が大ヒットそんな最中歌をロずさみながらの別れとなりました。

卒業時の校長は上野幸一先生で、厳格で規律正しい父親タイプで、背が高く厳しさの中にも目は熊蔵先生と瓜二つでした。

私は当時将来進むべき道がまだ決まっておらずでした。担任で恩師の大塚三郎先生（旧姓須藤）が道しるべを示してくださいました。初級公務員として東京労働

基準局に勤め夜間予備校へ行くことをアドバイスしてくれたのです。やっと建築方面へ進むことを決断し、翌年工学院大学建築学科に何とか入学することが出来ました。

1964年当時は東京五輪で日本中が賑わい、外国人の方々が多数駅・街中に溢れ、英会話学校花盛りでありました。私もクラブ活動は卒業まで英会話を話すことも出来ずでしたが「ESS」に所属し、教室は工学博士で建築史学が専門の堀越三郎教授の指導を受けることになりました。

卒論修学旅行は同教授と「桂離宮」・「修学院離宮」等々、事前に文科省に届け出た研修見学が主で、有意義かつ心に残る思い出深い旅でした。

その後社会人としてゼネコン・住宅会社そして一級建築士事務所自営と建築に携わってきましたが、やはり多くの各先生のご指導とお世話に感謝あるのみの現在です。

数年前東実同窓会報に歴代の校長先生の写真を拝見してびっくり致しました。あの物静かでボソボソと指導して頂いた学者タイプの私の堀越三郎教授が東実の第4代校長であったことに驚きました。

私はやはり東実に何か「縁」があったのだと思いました。

# “祝 100 周年” 東京実業高等学校



加藤 龍太郎 (第 73 期)



東実男子バスケット部 (平成 28 年撮影)

創立 100 周年、おめでとうございます。

東京実業高等学校 100 周年の歴史の中、ほんの一瞬、共に歩んだ 3 年間は、今の私の生きることの基礎をつくってくれました。

高校生活で思い出深いことは、日々の友人との生活ですが、それ以上に濃密な時間を過ごした、部活動の仲間達との時間です。中学から始めたバスケットボール。高校もそのバスケ推薦で入学し、仲間と出会い、3 年間の苦楽は、現在の交流にもつながっています。バスケットボールは団体競技。中学・高校で主将を務めた。おのおの異なる環境でバスケットボールを学び、改めて、高校でチームを組む。個々の主張を尊重しながら、チームとして一つにまとめなければならない。

そのためには、個人の性格、長所、短所、力量を考慮しながら、皆で話し合う。部活以外の時間も共に過ごし、服のセンスや女性の好みなど、何でも話し、理解、共感を作り上げていった。定期的に互いの家に大人数で泊まり、若さに任せて騒ぎ、親に怒られた事もあった。

そんな部活を通して確信できたことは、相手を理解すると同時に、自分のことも理解してもらい仲間達と共に歩めば、何かが創造できるという、確信を得たことだった。これは、チーム作りに大切な自信に変わっていった。同時に気づかされたことは、自分がチーム作りに努力できることは、みんなの協力、支えがあったからこそその結果である、ということだ。このことは、現在の仕事、生活に活かされている。

一戦一勝を目標に、厳しい練習による、日々の闘いが始まった。勝ったときは喜びが沸点に繋がり、負けたときはくやしきで無言になった。しかし、仲間と共に歩むことができたのは、みんなが「今の時間、精一杯、生きることを大切にした結果ではないだろうか。心の深いところで、互いが、人間として生まれ、人間としてどう生きるかを模索していたのかもしれない。

高校生活は、そんな大切なことを、自分の心ではあるが、わからないところで、追い求めている時代なのかもしれない。

## 母校のあゆみ

1922 年	現、東京都千代田区神田西小川町に甲種 5 年制商業学校として、東京実業学校を創立。 創立者上野清 (1854~1924) 初代校長に就任。	1989 年	マーチングバンド部、全国大会にてグランプリを受賞。
1936 年	神田西小川町より現在地に移転。	1992 年	上野毅第 8 代校長に就任。創立 70 周年。
1939 年	上野熊蔵第 3・5 代校長に就任。	2001 年	普通科男女共学再開。普通科を普通科文理コース。商業科を普通科ビジネスコースに名称変更。
1944 年	機械科設置。	2002 年	創立 80 周年。山中湖学寮改築工事完成。
1954 年	商業科男女共学 1985 年まで。	2003 年	陸上競技部、全国高校駅伝に東京代表として出場。
1958 年	全国高等学校レスリング大会において史上初の連続制覇。	2006 年	機械科・電気科男女共学開始。
1959 年		2010 年	電気科ゲーム IT コース新設 陸上競技部、全国高校駅伝に東京代表として出場 (2 回目)。
1963 年	上野幸一第 6 代校長に就任。体育館新築起工。	2011 年	陸上競技部、全国高校駅伝に東京代表として出場 (2 年連続 3 回目)。
1968 年	第一回交換留学生、姉妹校のポルダールハイスクールへ出発。教員 1 名、生徒 5 名。	2012 年	陸上競技部、全国高校駅伝に東京代表として出場 (3 年連続 4 回目)。 創立 90 周年。体育館改築工事完成。
1970 年	電気科設置。	2013 年	陸上競技部、全国高校駅伝に東京代表として出場 (4 年連続 5 回目)。
1972 年	本校レスリング部 OB 梅田昭彦がミュンヘン五輪大会出場入賞。	2014 年	普通科文理コース 2 年小野川稔がユースオリンピック (南京大会) 5000m 競歩で金メダル受賞。
1976 年	普通科設置。 本校レスリング部 OB 松永清志がカナダ五輪大会出場。	2015 年	知念義裕第 9 代校長に就任。新校舎完成。
1982 年	創立 60 周年。 山中湖学寮、付属体育館、鶴の木研修所完成。	2016 年	「キャリア教育優良校」として文部科学大臣表彰 受賞。
1985 年	マーチングバンド部、全国大会にて金賞受賞。以降 11 年連続金賞に輝く。	2017 年	交換留学制度 50 周年。
1987 年	創立 65 周年をむかえ、記念事業として新 1 号館 (6 階建) 完成。	2020 年	國分達夫第 10 代校長に就任。制服リニューアル。
1988 年	井上稔第 7 代校長に就任。	2022 年	創立 100 周年。探究コース・総合コース新設。 機械システムコース・電気システムコースに名称変更。



## 会員通信欄

### ☑ 「第42回定期総会」

#### 案内状の返信ハガキより

○浜住 芙美枝 (第34期) 会報ありがとうございます。コロナ感染者が減ったことで旅行が出来るようになった…とは言え、樂觀出来ませんが気を引き締めて行かなくてはと思います。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

○飯塚 守昭 (第38期・野球部) 会報ありがとうございます。コロナ感染症の収束が見通せない状況がまだ続いております。同窓会もままならず仲間ともご無沙汰です。高校野球都予選が有観客になればまた仲間と行きたいと思っています。皆さんに会えるのは本当に心の支えです。

○田所 豊 (第38期) 今回の総会にて相談役を退任します。長い間お世話になりました。同窓会行事には、可能な限り参加したいと思っています。

○富樫 誠 (第38期) 同窓会報いつも楽しみに読んでいます。ありがとう！！

○小川 隆 (第40期・MD) 40期MDのクラスメート連絡をう！！

○本田 俊弘 (第41期) 会報楽しみに拝見させて頂いています。早くコロナが収まり、明るく楽しい日常が戻ってくることを願っています。それまで皆様元気で頑張りましょう！

○大坂 浩之 (第67期) 創立100周年おめでとうございます。

### ☑ 封書にて (令和4年5月10日)

○小川 隆 (第40期・MD)

事務局 41期 米倉 美鈴 様へ

前略 いつも大変お世話になり感謝しております。

さて、今回の定期総会に出席出来ず大変残念です。来年崎陽軒にて開催される「令和5年度新年会」には出席したい気持ちで居ります。

本誌前号の会員通信欄において小生の一文を掲載して頂きありがとうございます。ただ、41期の方は多く居りますが40期の方は小生一人であります。

現在、同期で同クラスの友人は、大川氏のみであり何とかあと4～5名ぐらいの方と連絡出来ればと思っています。「卒業した懐かしい友を探して」の欄は大賛成です。お話が前後しますが、唯一の友人である大川氏とはいつでも連絡が出来るので安心しています。

小生、卒業時は横浜市鶴見区に生活しておりますが、伊豆の山中に引っ越して丸22年が過ぎました。今の季節は、最も良い時期であり緑もあざやかです。やはり昔の友人はどうしているのでしょうか？と気になる日々です…。取り留めもなく書きましたが乱筆にて失礼します。

少額 (1万円) ですが寄付させていただきます。

早々

### ☑ 封書にて (令和4年6月5日)

○日下部 銃五郎 (第38期)

事務局 米倉 様へ

前略 いつもお世話になります。写真 (15 ページの“三名の校長先生と「私の歩んだ道」”に載せる顔写真) 送付させていただきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

38期ということで半分自己紹介済みですが、少々紹介させていただきますと、疎開先の父母の故郷・会津若松市猪苗代湖畔の近くの山村で生まれた田舎者でございます。10年間その山村で暮らし、小5の時に横浜市立矢向小学校へ、そして4～5年後現在の東小倉 (川崎市) に引っ越し現在に至っております。

新鶴見操場近くの我家は、いつも貨車の入替作業の音で育ちました。そして小倉陸橋から米倉さんの実家の南加瀬を眺めると、まだ田畑が沢山あった記憶があります。

日吉郷土史会に3年ほど入会いたしまして、各講師・長老先生の講義で日吉の奥深さを知りました。時代は静かに動いているんですね。

37期の米田仁昌氏の悲報には驚きました。今年の10月29・30日に開催される東実祭で「校章マーク入りのドラヤキ」を楽しみにしております。

早々

## 東京実業高等学校インターアクトクラブ同窓会

コロナの影響で長々と延期しておりましたが、東京実業高等学校インターアクトクラブ同窓会を下記のとおり開催いたしました。

記

- ・日時：令和4年5月1日 (日) 14:00～16:00
- ・場所：プラザ・アペア 5F「フェリア」
- ・会費：10,000円

インターアクトクラブ同窓生の皆様、次回の開催日時等については未定ですが、開催に関する確認は同窓会事務局 (080-1186-8945) にお問い合わせいただければお知らせいたします。一人でも多くのクラブ同窓生にご出席いただきたく存じますので、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願いいたします。

インターアクトクラブ48期生 内山 保



出席者一同 (プラザ・アペア 2022.5.1)

### 物故者(敬称略)

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒期	氏名	没年
17期	須藤 福次郎	平成24年
17期	高田 雄吉	令和4年3月
18期	天明 延雄	平成31年4月
18期	瀧沢 司郎	令和3年9月
18期	清水 一雄	令和3年
18期	関矢 一郎	令和3年
19期	下條 秀夫	令和1年
20期	竹内 敏雄	令和3年8月
21期	高瀬 佳郎	令和3年11月
22期	宮崎 秀一	令和3年12月
23期	森田 昭	令和3年12月
23期	須山 晃	平成30年
23期	吉田 良夫	令和4年4月
23期	山川 孝	令和2年8月
23期	丸谷 良一	令和3年5月
26期	川添 茂	令和4年9月
29回	早川 芳三郎	令和4年4月
33期	長谷川 信夫	令和3年
33期	加山 好利	令和4年4月
34期	首藤 紀夫	令和3年6月
34期	雪田 弘子	令和4年5月
34期	山賀 道子	令和3年
35期	大場 義朗	令和3年1月
35期	遠田 重雄	令和3年7月
35期	春日 良夫	令和4年8月
35期	石橋 勲	—
36期	岡田 春雄	平成29年
36期	石原 孝	令和4年9月
36期	佐藤 美津子	令和4年5月
40期	小田部 富雄	令和4年1月
42期	田宮 隆	令和3年7月

### 物故者 memo

#### 故首藤紀夫様のご家族より封書にて(2022.01.16)

拝啓 私には亡父首藤紀夫の息子の「幸生」と申します。  
 この度、折角のお誘い(令和4年新年会案内)に亡父もさぞ喜んでのことと思います。  
 実は亡父紀夫は去る令和3年6月8日に自宅火災により80歳にて他界致しました。ここに謹んでお知らせ致しますとともに、生前故人に賜りました御厚誼に改めて心より厚く御礼申し上げます。このような事情で出席は叶いませんが亡き父に代わり皆様の益々のご健勝をお祈り致します。長い間本当に有難うございました。 敬具

#### 故吉田良夫様のご家族よりメールにて(2022.04.19)

平素より同窓会のお知らせなどをいただき、有難うございます。  
 吉田良夫(第23期機械)は令和4年4月4日急病のため他界いたしました(享年91歳)。高齢による身体的な不具合もありながらも、お蔭様をもちまして、食事や読書、数年前までは趣味の彫刻などを楽しんで、長寿を全ういたしました。ここに、生前、故人にいただきましたご厚情に遺族一同、心より感謝申し上げます。  
 コロナ禍の難しい情勢ではありますが、同窓の皆様もご健勝に、ますますご活躍されますようお祈り申し上げます。まずは、略儀ながら書中にてご報告させていただきます。 長女 吉田 奈緒子

#### 故山川孝様のご家族よりメールにて(2022.05.02)

父山川孝(第23期)の長男山川孝憲と申します。  
 父は、2020年8月31日、享年90歳にて永眠致しましたので、残念ながら同窓会会報のご送付を止めて頂きたく、お願い致します。  
 生前、父より、「通学していた頃は戦時中で、今で言う東富士演習場に泊まり込みで軍事教練した」こと。そして、「その時の上野熊蔵校長の軍服姿が凛々しく格好よかった」こと。「父は東急池上線の雪が谷大塚より乗車、久が原から同期の越前さん(父の親友にしてご健在)が乗ってきて、千鳥町からもう1人(名前は失念)で3人揃って通学した」ことなどなど、思い出話をいくつも聞いておりました。また、この縁あってか、私の倅も東京実業高校普通科文理コースに入学、父も大変喜んでおりました。その後2017年3月卒業し、推薦で拓殖大学に進学し、2021年3月卒業後、Family Martに就職し店長代理として社会人デビューしました。と言うことで、貴会の益々のご発展を、卒業生の息子として、また卒業生の父として、末永く祈念しております。 以上、略儀ながら…

## 第38期機械科3Bクラス会

10月30日(日)、コロナ禍の中開催された東実祭の見学を兼ねて、私たち38期機械科卒3年B組有志11名は60年ぶりに母校を訪問いたしました。しばらくぶりに校舎に入り入るので、感動しながら同窓会の部屋を訪れ、展示されていた卒業記念アルバムを閲覧し、在校当時の気持ちに戻り楽しませていただくとともに我々後期高齢者の心に最高の刺激を与えさせていただきました。実行委員の皆さまに感謝申し上げます。

東実祭見学後は蒲田西口の居酒屋でクラス会(喜寿の祝い)を開催し、それぞれの健康を確認するとともに次回も元気に会えることを誓い合い楽しく過ごすことが出来ました。今後も母校の応援しながら元気をいただきます。当日の仲間の楽しんでいる写真(撮影者は長坂訓弘君)を送らせていただきます。よろしく願い致します。

令和4年11月8日 星山 嘉昭(第38期機械科卒)



校門前にて

参加者(校門前にて)  
 左から…  
 高木強一(体操部主将)・戸田孝(バレーボール部主将)・斉藤克雄(ブラスバンド部立ち上げメンバー)・竹藤寛・大山健次・渡辺義志・石井満・飯塚守昭(野球部主将C組)・星山嘉昭(野球部)・長坂訓弘(柔道部副将)




蒲田西口居酒屋にて



東京都大田区南馬込5-22-10  
 TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00  
 携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

**お客様の「はたらく」をサポートする**  
 オフィスデザイン、内装工事、移転、原状回復から  
 ICT・OA機器、オフィス家具、文具事務用品まで  
 菊屋浦上商事へお任せください。


**菊屋浦上商事株式会社**  
<https://kikuyacorp.co.jp/>  
 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-32-9  
 TEL. 03-3737-1551 FAX. 03-3737-1558  
 代表取締役社長 浦上 大三朗


美しい日本語を大切に  
**株式会社 佐々木印刷所**  
 ☎146-0095  
 東京都大田区多摩川1丁目18番5号  
 TEL.03-3758-0710  
 FAX.03-3758-2821  
 第56期 佐々木 健


**株式会社 山下設計**  
**YAMASHITA SEKKEI INC.**  
 ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.  
 〒103-8542 東京都中央区日本橋小網町 6-1 Tel 03-3249-1551

スポーツのことなら!  
しろがね  
**白銀スポーツ**  
 ユニホーム・スポーツ用具  
 用品・施設・工事一般  
 カップ・賞品・トロフィー  
 〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7  
 TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845  
 第37期 白銀 正明


**NC旋盤加工**  
**有限会社大坂製作所**  
 〒144-0045 東京都大田区南六郷1-34-13  
 TEL.03-3735-0379 FAX.03-3735-0379

不動産の総合コンサルタント  
 分譲住宅 設計・施工・販売  
 神奈川県宅地建物取引業協会会員


**株式会社 セガ・コーポレーション**  
 〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号  
 TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866  
 第42期 代表取締役 瀬川 千尋

東京都 上・下水道局指定工事店  
**寺島工業所**  
 東京都大田区鶴の木2丁目34番14号  
 TEL 03 (3750) 4589  
 FAX 03 (3758) 4503

パソコン・一般家電 修理・販売  
 お気軽にご相談下さい  

**有限会社 深谷電器**  
 〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16  
 (御嶽山商店街内)  
 電話: 03(3728)1446  
 E-mail: NQF15990@nifty.com  
 第70期 代表取締役 深谷和弘

アルミサッシ・ガラス・鏡/工事  
**佐々木硝子店**  
 〒143-0015 東京都大田区大森西6丁目12-20  
 電話・FAX 03 (3761) 3343  
 佐々木 基裕

# 祝 創立100周年 お祝い申し上げます

企 画  
デザイン  
印刷全般

## トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷 1-18-14

TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448

E-mail: total@wing.ocn.ne.jp

代表取締役社長 川邊 國造 (第38期)

よろこびがつなく世界へ

# KIRIN



## あなたに 元気な毎日を。 キリンの免疫ケア。



果汁1%

**機能性表示食品** 届出表示 本品には、プラズマ乳酸菌(L. lactis strain Plasma)が含まれます。プラズマ乳酸菌はpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。●食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。●本品は、国の許可を受けたものではありません。●本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

キリンビバレッジ株式会社 IMUSE-P.jp

のんだあとはリサイクル。



- 移転・お引越し**  
産業廃棄物収集運搬・処理
- 不用品回収・処理**  
機密書類溶解処理
- 特別管理産業  
廃棄物収集運搬**
- 店舗・オフィス  
解体工事**
- 害虫駆除**






EJ00577/ISO14001:2004  
認証取得(営業所・京浜島工場)

**CLEAN & RECYCLE**

株式会社 **ジー・エス**  
〒108-0072 東京都港区白金1-1-6

0120  
12-5353

http://www.gs-recycle.com

創立100周年を心よりお祝い申し上げます

総合進路情報ポータルサイト

さんぽう進学ネット

SUPPORT YOUR DREAM

https://www.sanpou-s.net/

ここから  
アクセス






全国の大学・短期大学・専門学校・その他の教育機関など、4,000校以上の情報を掲載しています。「仕事」「資格」「学問」についての解説や、小論文や志望理由書の書き方などの受験対策、進学関連イベント情報などのコンテンツが満載です。

また適性検査の結果など、様々な方法で自分に合った学校を検索することができます。各学校の特色がわかる動画や記事特集などの情報も掲載しています。資料請求やオープンキャンパスの申込も可能です。



未来をカタチにする  
株式会社 **さんぽう**

東京本社



21000175(00)

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-31-16 初台壱番館ビル ☎03(3378)7111

■ 支社 名古屋/大阪/福岡 ■ 営業所 仙台/新潟/広島

すべて  
無料



くらしの友が創業以来、大切にしていることは“人と人のつながり”です。

今、社会はこれまでとは違った生活や考え方に大きく変わろうとしています。しかし、人の生きる基盤が“人と人のつながり”であることは不変です。

当社の使命は、その“つながり”を担うこと。

人が集い、心を分かち合い、助け合う場を築くことです。私たち、くらしの友は、冠婚葬祭などの非日常だけでなく、社名が示すとおり毎日のくらしのなかでも皆様のために動ける「くらしの友」であること、日々を豊かにする、身近なパートナーであり続けることに邁進いたします。

**新たな時代の“つながり”を担う企業へ**



つたえたい、大切なこと  
くらしの友

Shin Yokohama  
GRACE HOTEL

株式会社 全国儀式サービス

安心の物品管理専門業者  
メモリーズ

つたえたい、大切なこと  
くらしの友グループ



ユニフォームの企画・製作

# TOKYO TORAYA



## ユニフォームのご提案

在庫管理が楽になると評判！  
サイズ交換、クリーニング等も承ります。

作業服

事務服

防寒衣

警備服

医療服

衛生白衣

イベント

接客業

アミューズメント

## 会社ロゴ、お名前のお刺繍

会社やお店のロゴマークやお名前を刺繍いたします。

## 別注フルオーダーも可能です。

オリジナルブランド製品もございます。お気軽にご相談ください。



### 東京トラヤ株式会社

東京都大田区西蒲田7-49-9 サンライズカマタ通り

お問合せ・お見積り・カタログ請求

# 03-3735-7311

イベント企画・運営

情報誌制作・発行

Web企画・制作

進路情報提供

信頼されるコミュニケーションの形を提供します

情報 を 一人ひとりのストーリーへ

# LICENSE ACADEMY

ライセンスアカデミー

## イベント

高校内進路ガイダンス  
会場型進路ガイダンス  
自力進学ガイダンス  
各種進路講演会 他

## 進路情報誌

『進路のてびき』  
『系統・分野別情報誌』  
『自力進学 ー進学支援・学費サポートガイドー』  
『医療系学校入試データ』 他

## 新聞

『大學新聞』  
『進路新聞』  
『就活支援ジャーナル』  
『大学入試ジャーナル』 他

## WEBサイト

高校生のための進路情報サイト

# 進路ナビ

<https://shinronavi.com>


ケータイ版  
進路ナビは  
こちらから

## 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

東京本社	〒169-0073	東京都新宿区百人町2-17-24	TEL 03-5925-1641(代)
札幌支社	〒060-0032	札幌市中央区北2条東15-26-29	TEL 011-281-1641(代)
青森営業所	〒030-0803	青森市安方2-3-5	TEL 017-721-6641(代)
仙台支社	〒983-0038	仙台市宮城野区新田2-19-2	TEL 022-239-1641(代)
静岡営業所	〒422-8005	静岡市駿河区池田407-4	TEL 054-263-1641(代)
北陸営業所	〒920-0031	石川県金沢市広岡2-2-27	TEL 076-234-1641(代)
名古屋支社	〒460-0008	名古屋市中区栄1-15-22	TEL 052-222-1641(代)
大阪支社	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-9-11	TEL 06-6886-1641(代)
広島営業所	〒732-0056	広島市東区上大須賀町5-15 スウィングビル1F	TEL 082-207-1641(代)
福岡支社	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-4-24 LA福岡ビル2F	TEL 092-411-1641(代)
沖縄営業所	〒901-2122	沖縄県浦添市勢理客4-16-8	TEL 092-411-1641(代)





## 私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、

だれかの笑顔、

だれかの願いだから、

あたりまえの日常を、ささえつづけるために

つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

**KANDENKO**

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>

# (祝) 東京実業高校開校100周年



蒲田キャンパス

学校法人片柳学園 

**大学でも専門学校でも  
片柳学園なら  
多彩な進路が選べる!**



八王子キャンパス

## 東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎ 0120-444-925  
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-903  
<https://www.teu.ac.jp/>



<p><b>蒲田キャンパス</b></p> <p><b>デザイン学部</b></p> <p><b>医療保健学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リハビリテーション学科[言語聴覚学専攻/理学療法学専攻/作業療法学専攻]</li> <li>●看護学科 ●臨床工学科 ●臨床検査学科</li> </ul> <p><b>大学院</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デザイン研究科 ●医療技術学研究科</li> </ul>	<p><b>八王子キャンパス</b></p> <p><b>工学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●機械工学科 ●電気電子工学科 ●応用化学科</li> </ul> <p><b>コンピュータサイエンス学部</b></p> <p><b>メディア学部</b> ● <b>応用生物学部</b></p> <p><b>大学院</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工学研究科 ●バイオ・情報メディア研究科</li> </ul>
--	--

東京工科大学で学ぶ  
(学士)取得

日本工学院から  
東京工科大学へ編入  
(専門士)+(学士)取得

日本工学院で学ぶ  
(専門士)(高度専門士)取得

<p><b>クリエイターズカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放送芸術科*</li> <li>声優・演劇科*</li> <li>演劇スタッフ科●*</li> <li>マンガ・アニメーション科四年制◆**</li> <li>マンガ・アニメーション科*</li> </ul> <p><b>デザインカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームクリエイター科四年制◆**</li> <li>ゲームクリエイター科*</li> <li>CG映像科(3年制)*</li> <li>デザイン科(3年制)*</li> <li>グラフィックデザイン/イラストレーション/インテリアデザイン/プロダクトデザイン専攻</li> </ul>	<p><b>ミュージックカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックアーティスト科*</li> <li>プレイヤー/ヴォーカリスト/サウンドクリエイターコース</li> <li>コンサート・イベント科*</li> <li>音響芸術科*</li> <li>ダンスパフォーマンス科●*</li> </ul> <p><b>ITカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITスペシャリスト科(4年制)◆**</li> <li>AIシステム科</li> <li>情報処理科*</li> <li>ネットワークセキュリティ科*</li> <li>情報ビジネス科*</li> <li>秘書・事務/eビジネス/ホテル・観光●コース</li> </ul>	<p><b>テクノロジーカレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット科●*</li> <li>電子・電気科*</li> <li>一級自動車整備科(4年制)◆◆**</li> <li>自動車整備科●*</li> <li>応用生物学科●*</li> <li>建築設計科(4年制)◆**</li> <li>土木・造園科●*</li> <li>機械設計科*</li> </ul>	<p><b>スポーツ・医療カレッジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツトレーナー科三年制●**</li> <li>スポーツトレーナー科●**</li> <li>スポーツ健康学科三年制●**</li> <li>スポーツインストラクター/スポーツビジネス/サッカー/テニスコース</li> <li>スポーツ健康学科●*</li> <li>スポーツインストラクター/スポーツビジネス/サッカー/テニスコース</li> <li>鍼灸科(3年制)●*</li> <li>柔道整復科(3年制)●*</li> <li>医療事務科●*</li> </ul>
--	--	---	--

\*職業実践専門課程認定学科 ◆編入制度あり ※高度専門士付与学科  
 ●日本工学院専門学校のみ設置 ●日本工学院八王子専門学校のみ設置

## 日本工学院

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎ 0120-123-351  
 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-700  
<https://www.neec.ac.jp/> 姉妹校：日本工学院北海道専門学校



東京実業高等学校  
100周年  
心よりお祝い  
申し上げます

ビル清掃管理・清掃用品販売  
東京都大田区西蒲田8-10-10

株式会社 一元

## 事務局だより

### ■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

- 新年会 1月(最終土曜日)
- 定期総会 6月(第1土曜日)
- 懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- 東実祭 10月下旬～11月初旬(土・日曜日)

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。(事業部)

### ■ 広告掲載のお願い ■

#### ○同窓会報

本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は次の通りです。

広告サイズ	およそ寸法	色	価格(税込)
1	85×45mm	カラー	5,000円
2	A5サイズ	カラー	7,000円
3	A4サイズ	カラー	10,000円

各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話(080-1186-8945)またはメールにてお願いいたします。

#### ○同窓会ホームページ

ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(広報部)

### ■ 同窓会名の電話に“ご注意、” ■

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意、”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。

ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

### ■ 後輩(新入生)を募集しています ■

母校では、後輩(新入生)を募集しています。

お子様やお孫さん、親戚・友人・知人のご息女・ご子息など、ご紹介いただきますようお願いいたします。

(事務局)

### ■ 個人情報の取扱い ■

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のときのみを使用しております。

- 同窓会名簿の整備
- 同窓会報の送付
- 各種行事の開催案内送付
- 総会・役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。(事務局)

## 編集後記

本誌「東実同窓会報 No.34」100周年記念号の発行に際し、寄稿くださいました方々並びに学校教職員の皆様、また広告掲載にご理解ご協力をいただきました卒業生並びに協賛企業の方々の多大なるご協力により発行することができました、厚く御礼申し上げます。

令和4年は行動規制が解除されていった1年であったとはいえ、コロナウィルス感染者が減少するわけではなく催しはまだ縮小傾向にあった年でした。

当会としても母校100周年の節目に人事異動もあり、また本校次の100年に向かうと同様に新しい風が吹こうとしています。母校の繁栄を祈念した実りある同窓会に育てていく、そんな節目の年であると思います。

今後も本誌を通じて母校の現況や卒業生同士の交流への活用など、より一層活発にしてご要望にお応えしたいと思います。今後とも引き続きご指導ご支援をどうか賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

広報部責任者(副会長) 第70期 深谷 和弘

 <b>東実同窓会報 No. 34</b> (創立100周年記念号) <b>広報部</b>	
責任者	深谷 和弘 (副会長)
部員	長瀬 隆史 (常任幹事) 高山 俊一 (常任幹事) 宮崎 颯真 (常任幹事)
発行日	令和5年3月1日
編集	東実同窓会報 広報部
発刊	東京実業高校同窓会
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 東京実業高等学校内 電話 (M-phone) : 080-1186-8945 E-mail : tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
	[ホームページ] URL : <a href="http://www.tojitsu-dosokai.com/">http://www.tojitsu-dosokai.com/</a> Mail : <a href="mailto:info@tojitsu-dosokai.com">info@tojitsu-dosokai.com</a>
発行人	酒井 利夫 (会長)
編集人	深谷 和弘 (副会長)
協力	小畑 雅一 (副校長) 川邊 國造 (相談役) 米倉 美鈴 (事務局) 本田位公子 (顧問) 臼田 佳彦 (顧問)
制作	トータルプラン株式会社